

水土里のみちウォーキング in 「抱返り溪谷」

今年度の参加者は74名と少なめであったが、コースが県立自然公園である抱返り溪谷ということもあり、リピーターも多く参加してくれ今後も継続して開催していきたい。コースは駐車場を集合出発し、疏水百選にも選ばれている田沢疏水の「抱返り頭首工」や仙北平野の「玉川頭首工」の施設を巡り、自然豊かな原生林の中青い溪流と断崖絶壁が織りなす勇壮な溪谷美を堪能し、溪谷随一の名称回顧の滝を折り返す、約7キロ・9キロの2コースを設け、ゴール地点では「完歩証」と記念品として「あきたこまち」450gをプレゼントし好評を得ている。また、新日本歩道紀行100選にも選定され今後は具体化される予定であるため秋田県・土地連・各改良区のホームページの協力を得て募集方法を考えもっと広くPRしていきたい。



内容	農業水利施設周辺のウォーキング	
期	6月15日	
場	仙北市「抱返り溪谷」	
活動普及対象	一般県民	
アピールポイント	普段何気なく見ている自然の中を、ウォーキングを通じて健康増進を図ると共に、周辺に点在している普段立ち入ることのできない、農業水利施設に親しみ施設の役割や大切さを各土地改良区担当職員から、説明をいただき理解してもらうことを目的に取り組む。	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 20%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 20%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 15%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる 20%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 10%/20% 組織の活性化・ 地域農業の振興 ・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化	
今後の課題	新規参加者の獲得	

85%